

統一思想から見た原理本体論

鮮文大学校 柳在坤

I 序論

全祝福家庭はまず、家庭のなかで神を中心に侍り、父母と子女が完全に一つになる訓読教育を毎日実践しなさいというのです。原理教育、真のご父母様が与えられた教材－教本教育、真のご父母様の自叙伝の内容教育、そして、原理本体論の絶対性教育を徹底的にさせなければならないのです。

霊界に行っている皆さんの先祖たちまでも、無形でいられる神の実体として万生万事を実体主管しておられる真のご父母様の時を迎え、これから地上に再臨し、重生、復活、永生の3段階祝福を経て、真のご父母様の本体論教育、すなわち、絶対性教育を経てこそ本然の聖和圏に進入し、地上で天一国市民の資格を確保できるようになるのです。

30日間の原理本体論教育の時、5回以上教育を受けなければならないので連続して4泊5日の教育を30日間受けるようになった。「2013年1月13日の紀元節までに全祝福家庭は、原理本体論教育を受ければ過去の罪をすべて許す」と真のご父母様が語られたと講師の劉鐘玉氏は語った。

原理本体論教育を受けた一般の食口たちは、過去に受講した原理の内容よりもはるかに次元の高い内容に感動していた。

しかし、過去に李相軒前統一思想院長が主催した統一思想40日修練参加し、統一思想の深い内容を受けて感銘し、統一思想の試験に合格して講師認定証を受領した食口たち及び統一思想を熱心に研究してきた食口たちにとっては、原理本体論教育は「まさに統一思想そのものだ」、「統一思想を導入して原理を語っている」、「原理と統一思想、そして真のご父母様が語られた御言葉を整理したものである」など様々に語られている。

II 本論

原理本体論は原理講論、統一思想、真のご父母様が語られた御言葉の内容、

平和神経及び李相軒初代統一思想研究院院長の霊界からのメッセージなどから構成されている。

統一思想の内容

1. 1. 現実世界のすべての問題解決
2. 一 (2) 神の神相と神性の相互関係性
3. 一 (3) 神の性相の内部
4. 個性の尊貴性の根拠
5. 二 4) 真の教育
6. 5) (1) 二性性相が現実世界問題解決のカギ
7. (2) 性相と形状の属性として陽性、陰性の現実問題解決
8. 3 東洋と西洋の本体論
9. 三 3) 正分合作用と三対象目的及び四位基台
10. 四 (3) 二重目的
11. 創造理想社会 (天一国) など

III 結論

1. 紀元節まで劉鐘玉氏が原理本体論教育をする理由。

初期の頃、劉孝元氏が長生きして原理講論の講義をしてほしかったのに早くなかったので、紀元節まで同じ名字 (劉) の劉鐘玉氏に講義をさせて蕩滅しようとしている。

真のご父母様がかつて劉鐘玉氏を日本の総会長としてたて、経済復帰に邁進させた理由として、「教会初期の頃、劉孝元氏を統一産業に連れて行ったが、2回だけ訪問、そのあとは一度も訪れなかった。あまりにも経済に関心をもたなかったので、同じ苗字の劉鐘玉氏を日本の総会長としてたて経済に邁進させた」と語られたことがあった。

2. 李相軒初代統一思想研究院院長が、『統一思想要綱』を著したのは、『文鮮明先生御言葉選集』1巻から304巻、及び随時真のご父母様が語られた御言葉をメモした内容を整理したものである。ところが、初期の御言葉と異なって『御言葉選集』305巻から600数十巻までの御言葉は、神様の王権即位式や、真のご父母様が平和の王、万王の王として地上天上に天国を築くための具体的な内容である。

統一思想研究院で305巻から600数十巻の御言葉選集の研究がなされて

いたとすれば、『統一思想』は8大訓読教材に入っていたかもしれない。御言葉を絶えず研究していた劉鐘玉氏がこの時期にご父母様の御言葉を中心に『原理本体論』を著した功績は評価してもよいだろう。

3. 真のご父母様の統一思想を李相軒初代院長は『統一思想要綱』の著者を自らの名前で出版した。このため理解しがたく講義しづらい韓国の教会長クラスの食口たちの多くは、統一思想は李相軒初代院長の思想だから統一原理だけ講義すればいいのだという立場にいた。そのため統一思想をまともに講義できる講師たちの数は限られていた。

今回出版された『原理本体論』もまた劉鐘玉氏が著者として出版された。しかし創造原理以外の主要部分が統一原理から構成されているので教会長たちには非常になじみやすいものとなっている。その上、講義案としてのDVDなどが出ているために講義がしやすくなっている。

4. 劉鐘玉氏は、「将来すべての思想がなくなる。そして残るのは原理本体論という唯一思想だけである。」と主張する。暗に統一思想の消滅も意中に含めているのである。統一思想研究院による御言葉研究の放棄がその主な原因である。統一思想の存在を認めれば、原理本体論が統一思想の本体論（原相論）から多くの部分を引用した事実が明らかになり、原理本体論は統一思想の焼写しであると批判される可能性が強いので、何としても統一思想を現在の内容以上に発展しないものとして処理したい意図が働いている。